○法務委員会

内閣提出法律案(二件)

| | | | 1 | | | | |
|------------------|----|--------------------------|--|-------------------|---|----------|-----------|
| 国第 | 耆 | Ę. | | | | 番 | ÷ |
| 4 土 | } | | (A) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C | 3 | 2 | | |
| 4 九十四 会回 | Ę | j | 議 | | | 号 | ļ |
| 集団代表訴訟に関する法律案 | 件名 | | 本院議員提出法律案(一件) | 外国人登録法の一部を改正する法律案 | 供託法の一部を改正する法律案 | 4 | |
| | (月 | 提 | | 法律 | | 2 | 1 |
| _五 原 | ח | | | 案 | | | |
| (五、二三O) 藤原房雄君 | 日 | 出者 | | | | 技 | 1 |
| ○名名 | 付付 | 有 ——— 予 | | | 委 | 月 | 提 |
| | 月 | 備 | | 九 | 委、九三四 | 日 | 出 |
| | 日日 | 送 | | 九四 | 四四 | į | |
| | 出出 | 衆 | | 文 | 受 領 | 送付月日 | 本院 |
| | 月 | ^ | | - O'二九 | Q, | 何第 | に |
| | 日 | 提 | | 領九 | 領九 | 月で |) 受 、領 |
| 5 . | 付委 | | | | 五. | 付委 | F24 |
| 五六、二110 | 員 | | | 20 | | 員 | 4 |
| 0110 | 託会 | 参 | | 予元 | 予完 | 託会 | 参 |
| | 議委 | | | (予)可決 | (予)可决可 (予)可决 云::::云云::::::::::::云::::::::::::::::: | 議委 | |
| 継 | 員 | 議 | | = | | 員 | 議 |
| 続 | 决会 | | | 決芸 | 決夫 | 決会 | |
| 審 | 議本 | | | 可 | 可弄 | 議本 | |
| 査 | 会 | 院 | | | | 会 | 院 |
| н. | 決議 | | | 决三 |) //- | 中寒 | |
| | 付委 | | · I | | 五 | 付委 | |
| | 員 | 衆 | İ | 3 | 30 | 員 | 衆 |
| | 託会 | <i>)</i> 71× | | , , | , , | 託会 | Ж |
| | 議委 | | | 可 | 可要 | 議委 | |
| | 員 | 議 | | ą | .10 | 員 | 議 |
| | 決会 | | | 決三 | 决式 | 决会 | |
| | 議本 | | | 可 | 可弄 | 議本 | |
| | 会 | | | 10、六 10:1八 10:1元 | 大 | 슾 | 院 |
| | 決議 | ' | | 決元 | 決元 | 決議 | : |
| | 備 | | | | | 備 | |
| | 考 | | i | | | 考 | |

供託法の一部を改正する法律案(閣法第二号)(衆議院送付)

五六、 九、二四 内閣提出

一一、二七 参可決

要旨

定められている。られており、その利息は供託規則で年一・二パーセントとられており、その利息は供託規則で年一・二パーセントと現在、供託金には供託法で利息を付することが義務づけ

億六千万円の歳出の縮減が見込まれている。とを停止しようとするものであり、その結果三年間で四十度から昭和五十九年度までの間、供託金に利息を付するこ本法律案は、国の歳出の縮減を図るため、昭和五十七年

委員長報告

員会における審査の経過と結果を御報告いたします。ただいま議題となりました両法案につきまして、法務委

を停止しようとするものであります。度から昭和五十九年度までの間供託金に利息を付すること状にかんがみ、国の歳出の縮減を図るため、昭和五十七年まず、供託法の一部を改正する法律案は、国の財政の現まず、供託法の一部を改正する法律案は、国の財政の現

会議録によって御承知願います。しの必要性等について質疑が行われましたが、その詳細は運用の現状、本法案が国民に与える影響、供託制度の見直の負金におきましては、本法案提出に至る経緯、供託金

票の分類整理事務の廃止、返納された登録証明書を市町村資するため、都道府県知事の行うこととなっている登録写登録事務の簡素化及び合理化を図り、財政支出の効率化に次に、外国人登録法の一部を改正する法律案は、外国人

長から法務大臣に送付させる手続の廃止等を行おうとする

ものであります。

その詳細は会議録によって御承知願います。
活動の問題、難民の処遇等について質疑が行われましたが、外国人登録事務委託の状況、外国人登録証明書及び資格外、委員会におきましては、本改正案と行財政改革との関係、

のと決定いたしました。

「一大学について質疑を終わり、別に討論もなく、順次採売のと決の結果、供託法の一部を改正する法律案については多数決の結果、供託法の一部を改正する法律案については多数に対象について質疑を終わり、別に討論もなく、順次採

以上報告いたします。

外国人登録法の一部を改正する法律案(閣法第三号)(衆議院

送付)

五六、 九、二四 内閣提出

一〇、二九 衆可決

一、二七 参可決

本法律案は、外国人登録事務の簡素化及び合理化を図り、本法律案は、外国人登録事務の簡素化及び合理化を図り、本法律案は、外国人登録事務の簡素化及び合理化を図り、本法律案は、外国人登録事務の簡素化及び合理化を図り、本法律案は、外国人登録事務の簡素化及び合理化を図り、本法律案は、外国人登録事務の簡素化及び合理化を図り、本法律案は、外国人登録事務の簡素化及び合理化を図り、本法律案は、外国人登録事務の簡素化及び合理化を図り、本法律案は、外国人登録事務の簡素化及び合理化を図り、本法律案は、外国人登録事務の簡素化及び合理化を図り、本法律案は、外国人登録事務の簡素化及び合理化を図り、

こと。
の行うこととなつている写票の分類整理事務を廃止するの行うこととなつている写票の分類整理事務を廃止する由法務大臣に送付すれば足りることとし、都道府県知事

させる手続を廃止すること。三、返納された登録証明書を市町村長から法務大臣に送付

四、本法律は、昭和五十七年四月一日から施行すること。

委員長報告

供託法の一部を改正する法律案の委員長報告参照

○大蔵委員会

衆議院議員提出法律案(一件)

| 1 | 番号 | | | |
|---------------------------------------|---------------|---------------|--|--|
| 税のための臨時措置法案昭和五十六年分所得税の特別減 | 件名 | | | |
| くる表で | 月 | 提 | | |
| 五六二二〇) | 日) | 出者 | | |
| | 付 | 予 | | |
| 五六二二〇 | 月 | 備 | | |
| | 提 | <u>送</u> 本 | | |
| 委:1:10 | 出月日 | · 院 へ | | |
| 英二二0 | 付委員 託会 | 参 | | |
| 可 类 二二二 | 議委 員 決会 | 議 | | |
| 可 | 議本 会 決議 | 院 | | |
| | 付委 員 託会 | 衆 | | |
| | 議委 員 決会 | 議 | | |
| 可 決 | 議本 会 決議 | 院 | | |
| , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | 備 | | | |
| | 考 | | | |